

積水樹脂物流センター 生物多様性保全エリア

-積水樹脂(株) -

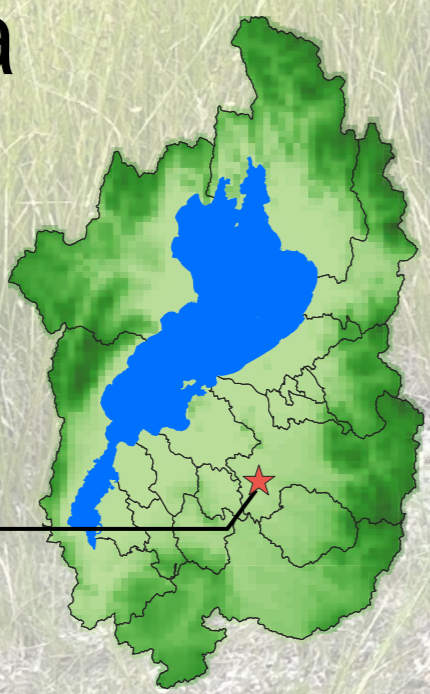
ハッチョウトンボの生息密度は県内トップクラス

布施山のふもとに体長わずか2cmほどの日本一小さなトンボ「ハッチョウトンボ」が生息する自然豊かな湿地が広がる工場があります。

場所:滋賀県東近江市

面積: 2.3 ha

積水樹脂物流センター
生物多様性保全エリア



しが生物多様性取組認証
3つ星取得



サイト概要

滋賀県東近江市布施山のふもとにあり、貧栄養湿地が広がっています。この地域には希少な植物が生息していたため、設立時に地域の住民や専門家の要望により周辺に生息する希少植物の一部を当社敷地内に移植しました。そのエリアを当社において「貴重種保護区域」とし、この自然共生サイト認定エリアの一部となっています。

地域等との連携

設立時にこの希少な植物の移植にかかわった人々により、地域の図書館の観察会や環境省モニタリングサイト1000里地調査に繋がっています。2007年に滋賀県が県民を対象に募集した『守りたい育てたい湖国の自然100選』では「稲垂の湿地」として、この湿地が選ばれています。



生物多様性の状況

貧栄養湿地にはイシモチソウやトウカイコモウセンゴケをはじめ、希少な湿地性植物が多数生育しています。また、ハッチョウトンボやヤマトサンショウウオなどの希少動物の生息や繁殖を確認しており、調整池では、カイツブリの抱卵や幼鳥を背中に載せて泳ぐ姿も確認されています。

活動の内容

敷地内には貧栄養湿地が広がり、多くの湿地性の動植物が生育しています。湿地やその周辺にはハッチョウトンボが生息しており、初夏には毎年専門家によるモニタリング調査を行っています。周囲からの森林遷移を防ぐため、必要に応じて生態系にあわせた除草や実生苗の抜き取りなどを行っています。また、この自然環境を利用し、観察会なども行っています。



ネイチャーポジティブに向けてのメッセージ

設立当初より多くの方の思いにより守られてきた希少な湿地であるということ、この活動を通じて知ることができました。多くのハッチョウトンボが飛び交うこの湿地を未来に残すため、地域の方と見守るとともに、「稲垂の湿地」の魅力を発信していきます。

